

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	附属治療所実技 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 金2限(1限)	教室名	2校舎5階実技室・附属治療所
担 当 教 員	鈴木 次郎	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>附属治療所実技Ⅱ(3年次)の前段階として、態度・習慣、安全で衛生的な基本的な臨床技能を身につける。前期は、特に配慮・衛生を主として学習する。後期は、診断技法・取穴・鍼灸施術を総合的に行う。後期は、主に附属治療所の見学実習を行う。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 見学実習報告 80% 2. 平常評価(自己・他者評価)20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>鍼具・灸具・プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK : 株式会社 滋慶出版/つちや書店 東洋療法学校協会編: 解剖学 第2版 ・ 東洋療法学校協会編: 新版 経絡経穴概論 第2版 など</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>1年次の解剖学、経絡経穴学、鍼灸基礎実技の復習と2年次に並行して学習する臨床医学総論、鍼灸診断学、鍼灸診断実技等の科目の復習を行い理解を深めてください。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>※ 出席に関して…本科目は臨床実習のため遅刻・欠席した場合は期末試験の受験資格を与えません。公欠・交通機関の遅延等の正当な理由がある場合でも補習を実施した上での評価となります。十分に注意してください。見学実習は、髪型・髪色は臨床実習生としての基準となります。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・プリント	1年次の鍼灸基礎実技の復習	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 基本の衛生的技法の確認			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・プリント	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習	
		各コマにおける授業予定	衛生的技法を用いた基本手技1			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習	
		各コマにおける授業予定	衛生的技法を用いた基本手技2			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習	
		各コマにおける授業予定	衛生的技法を用いた基本手技3			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・低周波通電機器・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習	
		各コマにおける授業予定	衛生的技法を用いての鍼通電療法1			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・低周波通電機器・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習
		各コマにおける授業予定	衛生的技法を用いての鍼通電療法2		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習
		各コマにおける授業予定	衛生的技法を用いての灸頭鍼		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習
		各コマにおける授業予定	衛生的技法を用いての小児鍼・皮内鍼		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習
		各コマにおける授業予定	衛生的技法を用いての短鍼		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって衛生的に鍼灸施術が行える	鍼具・灸具・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習
		各コマにおける授業予定	衛生的技法を用いての撚鍼刺法		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	附属治療所の理解、他者評価の方法・特徴を理解する	鍼具・灸具・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習
		各コマにおける授業予定	見学実習・鍼灸施術の他者評価		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	附属治療所の理解、他者評価の方法・特徴を理解する	鍼具・灸具・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習
		各コマにおける授業予定	見学実習・鍼灸施術の他者評価		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	附属治療所の理解、他者評価の方法・特徴を理解する	鍼具・灸具・プリント・教科書	1年次の鍼灸基礎実技の復習・前回の授業の復習
		各コマにおける授業予定	見学実習・鍼灸施術の他者評価		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	見学実習の内容を他者に報告できる	パソコン、レポート	見学実習での体験レポートを見直しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習における情報共有・準備		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	後期実習にむけた臨床実習の理解をふかめる	パソコン、プロジェクター、レポート	
		各コマにおける授業予定	見学実習における情報共有		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	附属治療所実技 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 金2限(1限)	教室名	2校舎5階実技室・附属治療所
担 当 教 員	鈴木 次郎	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>附属治療所実技Ⅱ(3年次)の前段階として、態度・習慣、安全で衛生的な基本的な臨床技能を身につける。前期は、特に配慮・衛生を主として学習する。後期は、診断技法・取穴・鍼灸施術を総合的に行う。後期は、主に附属治療所の見学実習を行う。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 見学実習報告 80% 2. 平常評価(自己・他者評価)20%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>鍼具・灸具・プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK : 株式会社 滋慶出版/つちや書店 東洋療法学校協会編: 解剖学 第2版 ・東洋療法学校協会編: 新版 経絡経穴概論 第2版 など</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>1年次の解剖学、経絡経穴学、鍼灸基礎実技の復習と2年次に並行して学習する臨床医学総論、鍼灸診断学、鍼灸診断実技等の科目の復習を行い理解を深めてください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>1年次の解剖学、経絡経穴学、鍼灸基礎実技の復習と2年次に並行して学習する臨床医学総論、鍼灸診断学、鍼灸診断実技等の科目の復習を行い理解を深めてください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	附属治療所実技 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 金2限(1限)	教室名	2校舎5階実技室・附属治療所
担 当 教 員	鈴木 次郎	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>附属治療所実技Ⅱ(3年次)の前段階として、態度・習慣、安全で衛生的な基本的な臨床技能を身につける。前期は、特に配慮・衛生を主として学習する。後期は、診断技法・取穴・鍼灸施術を総合的に行う。後期は、主に附属治療所の見学実習を行う。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 見学実習報告 80% 2. 平常評価(自己・他者評価)20%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>鍼具・灸具・プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK : 株式会社 滋慶出版/つちや書店 東洋療法学校協会編: 解剖学 第2版 ・東洋療法学校協会編: 新版 経絡経穴概論 第2版 など</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>1年次の解剖学、経絡経穴学、鍼灸基礎実技の復習と2年次に並行して学習する臨床医学総論、鍼灸診断学、鍼灸診断実技等の科目の復習を行い理解を深めてください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>1年次の解剖学、経絡経穴学、鍼灸基礎実技の復習と2年次に並行して学習する臨床医学総論、鍼灸診断学、鍼灸診断実技等の科目の復習を行い理解を深めてください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく	
	実習形式	各コマにおける授業予定	見学実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	十分な配慮をもって患者への対応を行える	配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK	鍼灸治療学の内容と検査法を復習しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	見学実習の内容を他者に報告できる	パソコン、レポート	見学実習での体験レポートを見直しておく
		各コマにおける授業予定	見学実習における情報共有・準備		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	後期実習にむけた臨床実習の理解をふかめる	パソコン、プロジェクター、レポート	
		各コマにおける授業予定	見学実習における情報共有		